

事業者のための

資金繰り表作成・活用 マニュアル



南アルプス市商工会

資金は会社の血液 あなたの会社の健康管理は大丈夫？

■ 今、『資金繰り表』を作らなければいけないワケ

今回の新型コロナの影響で、収入が落ち込んだ分の補填として銀行からの借入れをされた方も多かったかと思います。もしかしたらこのコロナ禍で初めて借入れをしたという方もいらっしゃるかもしれません。

また、今後の先行きの不透明さから手持ち資金として借入れをされている方も多くいらっしゃるかと思います。



1. 手元資金と現金を稼ぐ力にギャップ

借入金、一時的に入ってきたお金で売上の代わりになったお金ですが、持続化給付金などとは違っていずれは返済しなければならないお金ですから「自分で稼いだものではないお金」です。つまり、手元資金力と現金を稼ぐ力にギャップが出ているということになります。

資金繰り表が作れると…

1. 資金の過不足について安心できる
2. 資金手当てが必要な時期がわかる
3. 資金手当ての方法を考えられる

「手元現金が少ないと思っていたら意外と利益が出ていた」であればまだよいですが、「手元現金がまだあるから大丈夫と思っていたら、返済のためのお金がなかった」では困ってしまいます。

2. これまでの感覚のまま、目の前の資金だけを見て経営すると危うい

特に今回は通常の借入金とは違い、最大で5年も返済が猶予されているものもあります。

これまでであれば、銀行借入れといえどもすぐに返済が始まるので、手元の現金のみを見ても、ある程度の資金の増減が予想できましたが、5年間も返済が猶予されると、どうしてもその感覚が鈍ってしまいます。

つまり、これまでの感覚で見えている手元現金だけを頼りに事業経営をしてしまうのは危うい、ということです。

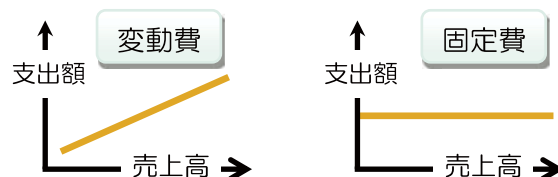
これを機会に、少し長期の目線で事業資金の全体像を俯瞰してみたいかがでしょうか。

「資金繰り表」の作り方

■ 用意するもの

- ◇ 令和1年度、2年度の月別売上／月別経費集計表
- ◇ 月別のものがない場合には、決算書の数字を12等分して代用

1. 経費を3つの種類に分ける



表への入力しやすさと、経費支出の予測しやすさを考慮して、経費は次の3つに区分します。

変動費 売上高を予測すれば、実績の経費率から大体の経費額が予測できるような経費

商品仕入れ原価、製造材料費、外注委託費

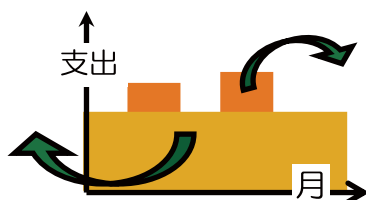
固定費1 一年のうち、毎月一定額の支払いをしている経費

人件費、家賃、水道光熱費、
消耗品費、借入金返済利息
(元金含まない)
・・・などなど

注：減価償却費は支出を伴わないので含めない

固定費2 一年のうち、特定の時期に支払いをする経費

法人税・消費税の予定(確定)納付、固定資産税、年払い保険料



2. 経費以外の支出を洗い出す

最近の通帳をみながら、経費集計表に記載されない支出を洗い出します。経費に集計されない支出が思いのほかあることに気づくと思います。

- ⇒ 借入金返済(元金)
- ⇒ 固定資産の取得
- ⇒ 割賦購入の分割払い金
- ⇒ 預り金の支払い
(源泉所得税、特別徴収住民税)
- ⇒ 積立保険
- ⇒ 生活費(個人)
- ⇒ 定期積金

生活費も 事業経費と同様に、毎月一定額のものとして一年のうち特定の時期に支払うもの(所得税、住民税、国民健康保険税など)に分けておくと◎

3. 売上と変動費について、入金時期と支払時期を確認する

□ 売上が発生した場合、現金として入金されるのはいつですか？ 売上と同時ですか？ 1か月後ですか？

□ 仕入れの支払いは仕入れと同時ですか？ 1か月後ですか？

資金繰り表では入金、出金に着目しますので、いつ現金が入金されるのか、いつ出金されるのかがとても重要です。得意先や販売手段によって入金時期が変わるのであれば、それらも確認して区別してください。

4. 数字を表に当てはめてみる

それでは実際に、資金繰り表のひな型に自社の数字を当てはめていきましょう

実践へ⇒

「資金繰り表」の作り方 ～ 個人事業主編 ～

③入金/支払時期を入力する

【作り方】入金出金間隔

資金繰り表はあくまで、売上現金の『入金月』、仕入代金の『支払月』に入力します。

例えば、現金売上は売上月＝入金月、ですが、掛売上は売上月の翌月以後に入金になります。

④その他の支出を入力する

【作り方】固定費 1

消耗品費が家賃のように月々全く同じ金額ということはありませんが、細かいことは気にせず、『大体このくらいの金額は毎月かかるな』という金額で埋めていきます。

よくわからないなどという場合には、決算書の金額から「固定費②の金額を除いて」12等分した数字でもかまいません。

【作り方】固定費 2

金額が大きめなスポットの支払いについて、「いつ」「いくら」の支払いがあるのかをどれだけ書き出せるかが資金繰り表活用のキモです。

租税公課のように一つの科目に複数の支払いが含まれるものは、2つ3つに行を分けてもよいと思います。

【作り方】返済資金

現在の銀行借入金、返済猶予を受けてしばらく返済がないとしても、月返済額、回数などの情報を書き出しておきます。

銀行借入金のほかにも、分割払金も経費にならない支出で同じですから、同様に書き出しておくべきものです。

【作り方】生活費

個人事業の場合には、事業資金と一緒に生活費も管理しなければなりません。食費や貯蓄、また所得税住民税、国保税などもざっくり見込みましょう。

事業所名	最初に、現在の事業用現預金の残高をセットします。		2021/01	2021/02	2021/03	2021/04
前期繰越金			5,000,000	4,769,000	4,704,000	4,405,000
売上高 (各月の売上金額)			3,500,000	3,300,000	3,400,000	3,000,000
現金売上	()	30%	1,050,000	990,000	1,020,000	900,000
現金売上	()	20%	700,000	660,000	680,000	600,000
売掛金入金 (1月後)	(掛け売上)	40%		1,400,000	1,320,000	1,360,000
売掛金入金 (1月後)	(クレジット)	10%		350,000	330,000	340,000
収入計	(②)		1,750,000	3,400,000	3,350,000	3,200,000
仕入高		原価率⇒ 60%	2,100,000	1,980,000	2,040,000	1,800,000
現金仕入	()	10%	210,000	198,000	204,000	180,000
現金仕入	()	20%	420,000	396,000	408,000	360,000
買掛金支払 (1月後)	(商品仕入)	30%		630,000	594,000	612,000
買掛金支払 (1月後)	(外注工賃)	30%		630,000	594,000	612,000
経費支払	(租税公課)		1,000	1,000	1,000	1,000
経費支払	(運賃)		20,000	20,000	20,000	20,000
経費支払	(水道光熱費)		20,000	20,000	20,000	20,000
経費支払	(旅費交通費)		20,000	20,000	20,000	20,000
経費支払	(通信費)		10,000	10,000	10,000	10,000
経費支払	(修繕費)		10,000	10,000	10,000	10,000
経費支払	(消耗品費)		50,000	50,000	50,000	50,000
経費支払	(給料賃金 給料)		400,000	400,000	400,000	400,000
経費支払	(利子割引料)		20,000	20,000	20,000	20,000
経費支払	(地代家賃)		80,000	80,000	80,000	80,000
経費支払	(雑費)		20,000	20,000	20,000	20,000
経費支払	(専従者給与)		200,000	200,000	200,000	200,000
その他	()					
経費支払	(租税公課 固定資産税、消費税)			50,000		500,000
経費支払	(損害保険料)					
経費支払	(給料賃金 賞与)					
経費支払	(修繕費)					
その他	(諸会費等)					
支出計	(③)		1,681,000	2,990,000	3,245,000	3,319,000
事業収支計	(④ (②-③))		869,000	410,000	105,000	386,000
借入金額						
〇〇銀行	()					
〇〇銀行	()					
新規借入 3	()					
その他	()					
資金調達計	(⑤)		0	0	0	0
借入金額		返済期間/月額				
◇◇信金	(7,300,000)	83月/120千	120,000	120,000	120,000	120,000
〇〇銀行	(20,000,000)	120月/166千	0	0	0	0
借入金返済 2	()					
分割払い (車両)	(2,000,000)	40月/50千	50,000	50,000	50,000	50,000
分割払い (機械)	(1,000,000)	33月/30千	30,000	30,000	30,000	30,000
返済計	(⑥)		200,000	200,000	200,000	200,000
財務収支計	(⑦ (⑤-⑥))		-200,000	-200,000	-200,000	-200,000
その他収入	()		0	0	0	0
生活費	(一式)		300,000	300,000	300,000	300,000
生活費支出	(所得税、住民税)					100,000
資金の増減			-231,000	-65,000	-299,000	-719,000
翌月繰越金			4,769,000	4,704,000	4,405,000	3,686,000

事業収支はプラスでなければ各種の返済、生活資金を工面できませんので、事業収支がプラスになるように、売上の計画をたて、費用の削減をしなければなりません

①売上を予測する

年間の月別売上高を予想して記入します。

②仕入を予測する

変動費は売上高×変動費率（過去の実績、今後の予想）で見込み計算してしまいます。

2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01
3,686,000	3,423,000	3,224,000	2,423,000	2,170,000	1,543,000	6,392,000	5,971,000	5,196,000
2,900,000	3,000,000	3,000,000	2,900,000	3,100,000	3,100,000	2,900,000	3,000,000	3,000,000
870,000	870,000	870,000	870,000	870,000	870,000	870,000	900,000	900,000
580,000	580,000	580,000	580,000	580,000	580,000	580,000	600,000	600,000
1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,240,000	1,160,000	1,200,000
300,000	290,000	300,000	300,000	290,000	310,000	310,000	290,000	300,000
2,950,000	2,950,000	3,000,000	2,950,000	3,000,000	3,100,000	3,000,000	2,950,000	3,000,000
1,740,000	1,800,000	1,800,000	1,740,000	1,860,000	1,860,000	1,740,000	1,800,000	1,800,000
174,000	180,000	180,000	174,000	186,000	186,000	174,000	180,000	180,000
348,000	360,000	360,000	348,000	372,000	372,000	348,000	360,000	360,000
180,000	174,000	180,000	180,000	174,000	186,000	186,000	174,000	180,000
540,000	522,000	540,000	540,000	522,000	558,000	558,000	522,000	540,000
540,000	522,000	540,000	540,000	522,000	558,000	558,000	522,000	540,000
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
80,000	50,000	30,000	500,000	30,000	50,000	50,000	50,000	50,000
400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
2,713,000	2,609,000	3,301,000	2,663,000	3,127,000	2,711,000	2,755,000	3,059,000	2,651,000
237,000	341,000	-301,000	287,000	-127,000	389,000	245,000	-109,000	349,000
5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
0	0	0	0	0	0	166,000	166,000	166,000
50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	366,000	366,000	366,000
-200,000	-200,000	-200,000	-200,000	-200,000	4,800,000	-366,000	-366,000	-366,000
0	0	0	0	0	0	0	0	0
300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
300,000	340,000	300,000	340,000	300,000	340,000	300,000	300,000	340,000
-263,000	-199,000	-801,000	-253,000	-627,000	4,849,000	-421,000	-775,000	-357,000
3,423,000	3,224,000	2,423,000	2,170,000	1,543,000	6,392,000	5,971,000	5,196,000	4,839,000

作成のポイント…①

『ある程度割り切って作る』

売上も仕入れも未来のことは分からなくて当然！考えることが大事!!

必要な売上高を知る

資金を絶やさず回すために必要な売上高はいくらなのかをおおよそ知って目標としていきます。

経費の見直し

固定経費は売り上げにかかわらず今後も継続する支出で、否応なく手元資金を減少させていきます。不必要な支出で手元現金を減らすわけにはいきません。これまでの何気ない支出についても、必要性を再検討することが必要です。

借入金返済の条件変更を検討する

売上計画、各種経費の見直しで事業収支のプラス化ができて、返済に不足するのであれば、返済額の減額を依頼して負担軽減するというのも手法です。

予測と実績のズレを確認して軌道修正

作成した資金繰り表はあくまで現時点での「予想」です。予想でしかありませんから実際はその通りにはなりません。状況が変わる都度修正して、『今後の対策を考える』ために使います。

資金繰り表の活用方法

「資金繰り表」の作り方 ~ 法人編 ~

③入金/支払時期を入力する

【作り方】入金出金間隔

資金繰り表はあくまで、売上現金の『入金月』、仕入代金の『支払月』に入力します。

例えば、現金売上は売上月=入金月、ですが、掛売上は売上月の翌月以後に入金になります。

④その他の支出を入力する

【作り方】固定費①

消耗品費が家賃のように月々全く同じ金額ということはありませんが、細かいことは気にせず、『大体このくらいの金額は毎月かかるな』という金額で埋めていきます。

よくわからないなという場合には、決算書の金額から「固定費②の金額を除いて」12等分した数字でもかまいません。

【作り方】固定費②

金額が大きめなスポットの支払いについて、「いつ」「いくら」の支払いがあるのかをどれだけ書き出せるかが資金繰り表活用のキモです。

租税公課のように一つの科目に複数の支払いが含まれるものは、2つ3つに行を分けてもよいと思います。

【作り方】返済資金

現在の銀行借入金は、返済猶予を受けてしばらく返済がないとしても、月返済額、回数などの情報を書き出しておきます。

銀行借入金のほかにも、分割払金も経費にならない支出で同じですから、同様に書き出しておくべきものです。

作成のポイント...②

資金繰り表は作ってからが勝負！

常に半年、1年先の資金状況を見続ける『継続』こそチカラなり！！

最初に、現在の事業用現預金の残高をセットします。

法人名	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04
前期繰越金	9,000,000	8,584,200	8,467,200	8,469,000
売上高 (各月の売上金額)	6,300,000	5,940,000	6,120,000	5,400,000
現金売上 () () () 30%	1,890,000	1,782,000	1,836,000	1,620,000
現金売上 () () () 20%	1,260,000	1,188,000	1,224,000	1,080,000
売掛金入金 (1月後) (掛け売上) () 40%		2,520,000	2,376,000	2,448,000
売掛金入金 (1月後) (クレジット) () 10%		630,000	594,000	612,000
収入計 (②)	3,150,000	6,120,000	6,030,000	5,760,000
仕入高 原価率⇒ 60%	3,780,000	3,564,000	3,672,000	3,240,000
現金仕入 () () () 10%	378,000	356,400	367,200	324,000
現金仕入 () () () 20%	756,000	712,800	734,400	648,000
買掛金支払 (1月後) (商品仕入) () 30%		1,134,000	1,069,200	1,101,600
買掛金支払 (1月後) (外注工賃) () 30%		1,134,000	1,069,200	1,101,600
経費支払 (役員報酬) () ()	900,000	900,000	900,000	900,000
経費支払 (給料賃金 給料) () ()	720,000	720,000	720,000	720,000
経費支払 (租税公課) () ()	1,800	1,800	1,800	1,800
経費支払 (運賃) () ()	36,000	36,000	36,000	36,000
経費支払 (水道光熱費) () ()	36,000	36,000	36,000	36,000
経費支払 (旅費交通費) () ()	36,000	36,000	36,000	36,000
経費支払 (通信費) () ()	18,000	18,000	18,000	18,000
経費支払 (修繕費) () ()	18,000	18,000	18,000	18,000
経費支払 (消耗品費) () ()	90,000	90,000	90,000	90,000
経費支払 (利子割引料) () ()	36,000	36,000	36,000	36,000
経費支払 (地代家賃) () ()	144,000	144,000	144,000	144,000
経費支払 (雑費) () ()	36,000	36,000	36,000	36,000
その他 () () ()				
固定費① 経費支払 (租税公課 固定資産税、消費税) () ()		90,000		900,000
固定費② 経費支払 (損害保険料) () ()				
経費支払 (給料賃金 賞与) () ()				
経費支払 (修繕費) () ()				
その他 () () ()				
その他 () () ()				
支出計 ③				14,200
事業収支計 ④ (②-③)				57,800
借入金額 返済期間/月額				243,000
〇〇銀行 () () ()				254,200
〇〇銀行 () () ()				
新規借入3 () () ()				
その他 () () ()				
資金調達計 ⑤	0	0	0	0
借入金額 返済期間/月額				
◇◇信金 (13,000,000 60月/216千)	216,000	216,000	216,000	216,000
〇〇銀行 (20,000,000 67月/298千)	0	0	0	0
借入金返済2 () () ()				
分割払い (車両) (2,000,000 32月/90千)	90,000	90,000	90,000	90,000
(機械) (3,000,000 55月/54千)	54,000	54,000	54,000	54,000
⑥	360,000	360,000	360,000	360,000
⑦ (⑤-⑥)	-360,000	-360,000	-360,000	-360,000
	-415,800	-117,000	1,800	-1,114,200
	8,584,200	8,467,200	8,469,000	7,354,800

事業収支はプラスでなければ各種の返済、生活資金を工面できませんので、事業収支がプラスになるように、売上の計画をたて、費用の削減をしなければなりません

①売上を予測する

年間の月別売上高を予想して記入します。

2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01
7,354,800	6,945,400	6,659,200	5,217,400	4,834,000	3,705,400	12,505,600	11,747,800	10,352,800
5,220,000	5,400,000	5,400,000	5,220,000	5,580,000	5,580,000	5,220,000	5,400,000	5,000,000
1,566,000	1,620,000	1,620,000	1,559,000	1,674,000	1,674,000	1,566,000	1,620,000	1,500,000
1,044,000	1,090,000	1,090,000	1,044,000	1,116,000	1,116,000	1,044,000	1,080,000	1,000,000
2,160,000	2,088,000	2,160,000	2,160,000	2,232,000	2,232,000	2,232,000	2,088,000	2,160,000
540,000	522,000	540,000	540,000	522,000	558,000	558,000	522,000	540,000
5,310,000	5,310,000	5,400,000	5,310,000	5,400,000	5,580,000	5,400,000	5,310,000	5,200,000
3,132,000	3,240,000	3,240,000	3,132,000	3,348,000	3,348,000	3,132,000	3,240,000	3,000,000
313,200	324,000	324,000	313,200	334,800	334,800	313,200	324,000	300,000
626,400	648,000	648,000	626,400	669,600	669,600	626,400	648,000	600,000
324,000	313,200	324,000	324,000	313,200	334,800	334,800	313,200	324,000
972,000	939,600	972,000	972,000	939,600	1,004,400	1,004,400	939,600	972,000
972,000	939,600	972,000	972,000	939,600	1,004,400	1,004,400	939,600	972,000
900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000	900,000
720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000	720,000
1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
144,000	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
80,000		90,000	54,000	900,000		54,000	90,000	
						90,000		
		720,000					720,000	
		360,000						
5,359,400	5,236,200	6,481,800	5,333,400	6,168,600	5,419,800	5,499,000	6,046,200	5,239,800
-49,400	73,800	-1,081,800	-23,400	-768,600	160,200	-99,000	-736,200	-39,800
					9,000,000			
資金調達								
手元資金が足りなくなりそう				0	9,000,000	0	0	0
ときは、時間的な余裕をもって								
借り換えやリスキューリンク				216,000	216,000	216,000	216,000	216,000
を検討しましょう				0	0	298,800	298,800	298,800
90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000	658,800	658,800	658,800
-360,000	-360,000	-360,000	-360,000	-360,000	8,640,000	-658,800	-658,800	-658,800
-409,400	-286,200	-1,441,800	-383,400	-1,128,600	8,800,200	-757,800	-1,395,000	-698,600
6,945,400	6,659,200	5,217,400	4,834,000	3,705,400	12,505,600	11,747,800	10,352,800	9,654,200

②仕入を予測する

変動費は売上高×変動費率（過去の実績、今後の予想）で見込み計算してしまいます。

④その他

【作り方】 役員報酬

役員報酬は生活費を賄える金額に なっていますか。足りていない場合、知らず知らずのうちに、会社の資金を生活費に流用することになってしまいます。生活費としての役員報酬を確保したうえで、事業収支がプラスになるような経営を考えていきましょう。

必要な売上高を知る

資金を絶やさず回すために必要な売上高はいくらなのかをおおよそ知って目標としていきます。

経費の見直し

固定経費は売り上げにかかわらず今後も継続する支出で、否応なく手元現金を減少させていきます。不必要な支出で手元現金を減らすわけにはいきません。これまでの何気ない支出についても、必要性を再検討することが必要です。

借入金返済の条件変更を検討する

売上計画、各種経費の見直しで事業収支のプラス化ができて、返済に不足するのであれば、返済額の減額を依頼して負担軽減するという手手法です。

予測と実績のズレを確認して軌道修正

作成した資金繰り表はあくまで現時点での「予想」です。予想でしかありませんから実際はその通りにはなりません。状況が変わる都度修正して、『今後の対策を考える』ために使います。

資金繰り表の活用方法

資金繰り表[個人事業主用]

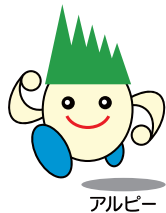
事業所名										
前期繰越金		①		0	0	0	0	0	0	0
売上高 (各月の売上金額)										
現金売上	()									
現金売上	()									
売掛金入金 (1月後)	(掛け売上)									
売掛金入金 (1月後)	(クレジット)									
	()									
収入計	(②)		0	0	0	0	0	0	0	0
仕入高		原価率⇒	0	0	0	0	0	0	0	0
現金仕入	()									
現金仕入	()									
	()									
買掛金支払 (1月後)	(商品仕入)									
買掛金支払 (1月後)	(外注工賃)									
	()									
	()									
	()									
	()									
経費支払	(租税公課)									
経費支払	(運賃)									
経費支払	(水道光熱費)									
経費支払	(旅費交通費)									
① 経費支払	(通信費)									
経費支払	(修繕費)									
経費支払	(消耗品費)									
経費支払	(給料賃金 給料)									
経費支払	(利子割引料)									
経費支払	(地代家賃)									
経費支払	(雑費)									
経費支払	(専従者給与)									
その他	()									
② 経費支払	(租税公課 固定資産税、消費税)									
経費支払	(損害保険料)									
経費支払	(給料賃金 賞与)									
② 経費支払	(修繕費)									
経費支払	()									
その他	(諸会費等)									
支出計	③		0	0	0	0	0	0	0	0
事業収支計	④ (②-③)		0	0	0	0	0	0	0	0
	借入金額	返済期間/月額								
〇〇銀行	()									
〇〇銀行	()									
〇〇銀行	()									
その他	()									
資金調達計	⑤		0	0	0	0	0	0	0	0
	借入金額	返済期間/月額								
◇◇信金	(月/千)									
〇〇銀行	(月/千)									
〇〇銀行	(月/千)									
分割払い (車両)	(月/千)									
分割払い (機械)	(月/千)									
返済計	⑥		0	0	0	0	0	0	0	0
財務収支計	⑦ (⑤-⑥)		0	0	0	0	0	0	0	0
	()									
その他収入			0	0	0	0	0	0	0	0
生活費	(一式)									
	(所得税、住民税)									
生活費支出			0	0	0	0	0	0	0	0
資金の増減			0	0	0	0	0	0	0	0
翌月繰越金			0	0	0	0	0	0	0	0

資金繰り表[法人用]

法人名										
前期繰越金		①		0	0	0	0	0	0	0
売上高 (各月の売上金額)										
現金売上	()									
現金売上	()									
売掛金入金 (1月後)	(掛け売上)									
売掛金入金 (1月後)	(クレジット)									
	()									
収入計	(②)		0	0	0	0	0	0	0	0
仕入高		原価率⇒	0	0	0	0	0	0	0	0
現金仕入	()									
現金仕入	()									
	()									
買掛金支払 (1月後)	(商品仕入)									
買掛金支払 (1月後)	(外注工賃)									
	()									
	()									
	()									
	()									
経費支払	(役員報酬)									
経費支払	(給料賃金 給料)									
経費支払	(租税公課)									
経費支払	(運賃)									
経費支払	(水道光熱費)									
経費支払	(旅費交通費)									
① 経費支払	(通信費)									
経費支払	(修繕費)									
経費支払	(消耗品費)									
経費支払	(利子割引料)									
経費支払	(地代家賃)									
経費支払	(雑費)									
その他	()									
	()									
	()									
① 経費支払	(租税公課 固定資産税、消費税)									
経費支払	(損害保険料)									
経費支払	(給料賃金 賞与)									
② 経費支払	(修繕費)									
その他	()									
その他	()									
支出計	③		0	0	0	0	0	0	0	0
事業収支計	④ (②-③)		0	0	0	0	0	0	0	0
	借入金額 返済期間/月額									
〇〇銀行	()									
〇〇銀行	()									
〇〇銀行	()									
その他	()									
資金調達計	⑤		0	0	0	0	0	0	0	0
	借入金額 返済期間/月額									
◇◇信金	(月/千)									
〇〇銀行	(月/千)									
〇〇銀行	(月/千)									
分割払い (車両)	(月/千)									
分割払い (機械)	(月/千)									
返済計	⑥		0	0	0	0	0	0	0	0
財務収支計	⑦ (⑤-⑥)		0	0	0	0	0	0	0	0
資金の増減			0	0	0	0	0	0	0	0
翌月繰越金			0	0	0	0	0	0	0	0

※無断転用禁止

未来に敏感、人が中心



南アルプス市商工会

〒400-0337 山梨県南アルプス市寺部971
Tel.055-280-3730 Fax.055-280-3731
<https://www.minamialps-shokokai.jp>